

昭和電工株式会社東長原事業所 CSRサイトレポート2018



湯野上発電所阿賀川水路橋

トップメッセージ

日頃より昭和電工(株)東長原事業所の事業活動にご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

当社グループは、社会に対して有用でかつ安全な製品・サービスを提供すると共に、豊かさと持続性の調和した社会の創造に貢献する「社会貢献企業」の実現を目指し活動しております。

東長原事業所においても、地域の皆様やお客様をはじめとする全てのステークホルダーの皆様から信頼され、親しまれる事業所を目指して、省資源化・クリーンエネルギー活用の推進や環境の保全、保安防災活動など様々な取り組みを進めています。また、小学校等への出前授業や納涼祭の開催などを通じて地域の皆様との関わりを大切にすると共に、献血運動やアルミ缶リサイクルを通じたボランティア活動などにも精力的に取り組んでいます。

この「東長原事業所CSRサイトレポート2018」は2017年から2018年上期までのCSRに関わる取り組みをまとめたものです。皆様に当サイトレポートをご一読頂き、率直なご意見やご感想をお寄せ頂ければ幸甚に存じます。



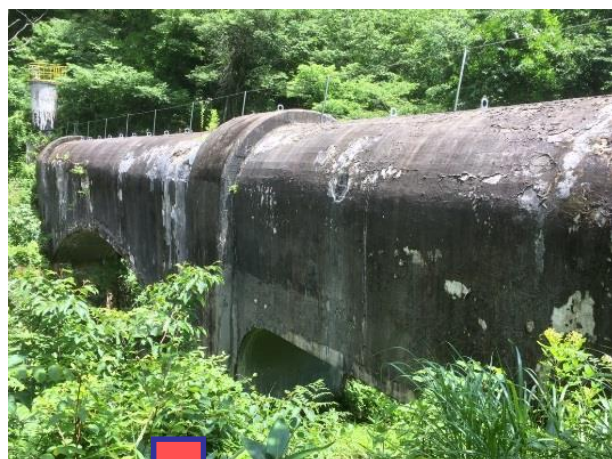
東長原事業所長 窪田 浩二

トピックス

■阿賀川水路橋補修工事無事故にて完了！

旭ダムから湯野上発電所へ発電用水を送る導水路の途中にある阿賀川水路橋は、1935(昭和10)年に建設されました。これまで小規模な補修は行ってきましたが、徐々に劣化が進んできたため、今回大規模な補修工事を行いました。

工事に先立ち、2016年に数ヶ月をかけて水路橋の状態調査を行い、調査結果を基に2017年に大規模な吊り足場を設置し、約83年の間、雨、風、雪に耐えてきた外壁を削り落とし、コンクリートにて補修をしました。その結果、阿賀川水路橋は見違える程綺麗に生まれ変わり、安心して発電用水を送り続ける事が可能になりました。



大規模補修前の阿賀川水路橋



吊り足場の設置

地域の方々のご理解とご協力を頂き、無事に無事故・無災害で補修工事を完遂することが出来たことに感謝申し上げます。

引き続き観音川水路橋も同様の補修工事を予定しています。これからも地域と共存共栄を目指し、湯野上発電所・旭ダムの安全安定運転に努めていきます。



大規模補修完了

安全衛生 の取り組み

■目標！休業災害・不休災害ゼロ！

■安全衛生方針

東長原事業所 安全衛生方針

昭和電工株式会社東長原事業所は、従業員、協力企業従業員、その他の関係者全ての安全と健康の確保が企業活動の基盤であるとの認識のもと、安全、健康で快適な職場を実現するため、次のとおり安全衛生方針を定める。

また、この方針の実現のため、従業員、協力企業従業員、その他の関係者全ての協力を求め、事業所の安全衛生活動を推し進めていくものとする。

基本方針

1. 安全第一を徹底し、事故・災害ゼロを継続する。
2. 働く環境を改善・維持し、業務上疾病ゼロを継続する。
3. 全員参加による安全衛生活動を推進する。
4. 相互注意の精神を大事にし、職場の仲間を事故・災害から守る。
5. 従業員一人ひとりの心身の健康を大切に、明るく活気ある職場づくりを推進する。

■東長原事業所 従業員・協力企業の災害発生状況

2016年7月29日に従業員・休業災害を発生させてしまいましたが、2017年は、真の安全文化醸成を目標に掲げ、事業所一丸となって安全衛生活動に取り組んだ結果、従業員および協力企業員ともに休業、不休災害ゼロを達成することができました。



■最新データ集計期間：2016年12月16日～2017年12月15日

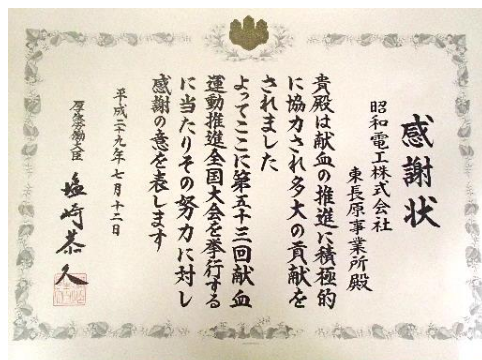
■献血運動推進

当事業所は、長年に亘り献血運動の推進へ積極的に協力してきたことが認められ、2017年に開催された第53回献血運動推進全国大会において、厚生労働大臣感謝状受賞団体に選ばれました。同年7月に福島県赤十字献血センターで行われた厚生労働大臣表彰伝達式では、感謝状および副賞が授与されました。

献血運動推進全国大会は、国内の医療に関する全ての血液製剤を献血によって確保することを目指し、成分献血及び400mL献血への理解の推進や、血液事業を発展させるために毎年開催されています。

当事業所では年3回、敷地内の企業で働く全従業員に対して献血の協力をお願いしており、ほぼ100%が400mL献血です。

今後も社会貢献活動の一つとして献血運動を推進し、400mL献血の協力に取り組んでいきます。



感謝状

環境負荷削減の取り組み

■ 社会・環境との調和

■ 環境方針

社会・環境との調和

行動指針

1. 川崎事業所および東長原事業所は、市民の一員としての自覚をもち自然と地域との共生をめざすとともに、生物多様性および生態系の保護に努める。
2. 化学製品の設計から製造、物流、使用、廃棄・リサイクルまでの段階で廃棄物や環境負荷の削減、省資源、省エネルギー、持続可能な資源の利用等環境保全に配慮した活動に努める。
3. 川崎事業所及び東長原事業所の活動が環境に及ぼす影響を認識し、継続的な改善と汚染の予防、気候変動への適応に努める。
4. 環境に関する法規制およびその他の要求事項を遵守するため、自主管理基準を設定し、環境の保全に努める。
5. 具体的な目的、目標を明確にして環境管理活動を推進し、状況の変化を反映させるべく定期的に見直しをする。

■ ゼロ・エミッションの取り組み

当事業所は、ゼロ・エミッション(最終埋立処分量が産廃発生量の1%以下)の取り組みを行っています。2017年度も、ゼロ・エミッションを達成することができました。

■ アルミ缶リサイクル活動

アルミ缶をリサイクルすると、原料から新たに地金を製造する際と比較して、97%ものエネルギーを削減できます。当事業活動では、回収収益金の寄付を目的としたチャリティー参加者を増やす取り組みをしています。収益金は地域の福祉団体等へ寄付されます。

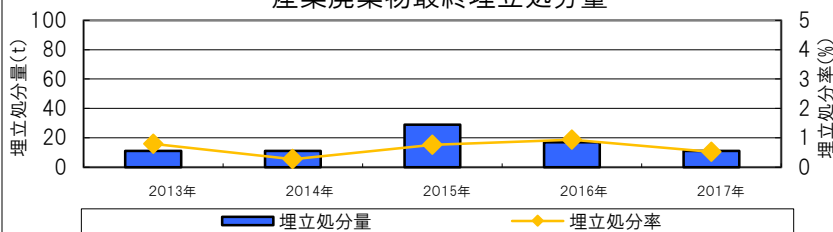
■ 大気汚染物質排出状況

2006年末よりボイラーの燃料を、硫黄分の少ないA重油に変更し、硫黄酸化物(SOx)の排出量を大幅に削減することが出来ました。また、窒素酸化物及びばいじんを含め、排出濃度は法定基準を大幅に下回っています。

■ 水質汚濁物質排出状況

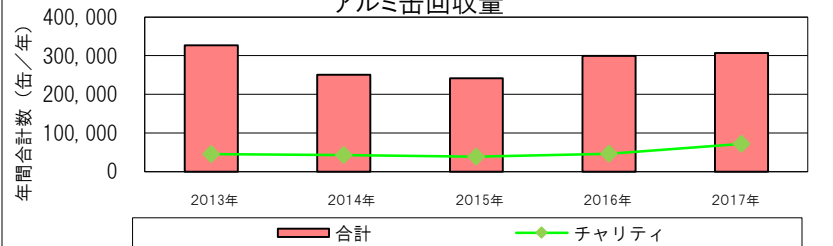
製造工程で発生する廃液は専門業者に廃棄物処理委託をしているため、河川に放流する排水は、主に工程で使用する冷却水や洗浄水となります。水質汚濁物質の排出総量に大きな変化はありませんが、末端排水口での管理濃度に関しては、法定基準より厳しい自主管理値を設定して維持・管理をしています。

産業廃棄物最終埋立処分量



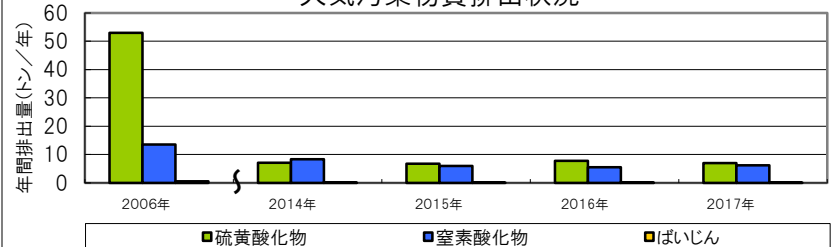
■ 最新データ集計期間: 2017年4月～2018年3月

アルミ缶回収量



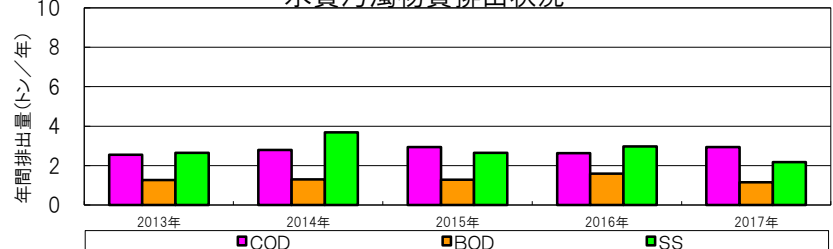
■ 最新データ集計期間: 2017年1月～12月

大気汚染物質排出状況



■ 最新データ集計期間: 2017年1月～12月

水質汚濁物質排出状況



■ 最新データ集計期間: 2017年1月～12月

防災 の取り組み

■ 事故・災害に備えて

■ 総合防災訓練

事業所内で火災・爆発・有害物質漏洩等の緊急事態が発生した場合に備え、事業所内各企業と共同で総合防災訓練を年2回(春・秋)実施しています。これは、より大きな事故への拡大防止、消防署・警察署・近隣への通報連絡、避難誘導、負傷者救助・応急処置等を確実にを行うことを目的としており、会津若松消防署十文字出張所にもご協力いただいています。2017年度からは事前に作成するシナリオに頼らない訓練とし、より実践的な訓練となっています。



被害者救出の訓練



非常対策本部

■ 応急手当推進事業所

当事業所には緊急時に救急車が到着するまでの間、応急の救命措置のできる従業員がいます。また、AED(自動体外式除細動器)を場内企業と共同で設置し、応急手当推進事業所にも認定されています。

2013年からは湯野上発電所にもAEDを設置しています。毎年、総合防災訓練終了後、会津若松消防署十文字出張所による普通救命講習を受け、心肺蘇生法とAEDの使用方法について学んでいます。



十文字出張所職員による普通救命講習



AED使用方法実技



品質 の取り組み

■ お客様に満足いただける品質の提供

■ 品質方針

お客様の満足する品質の提供

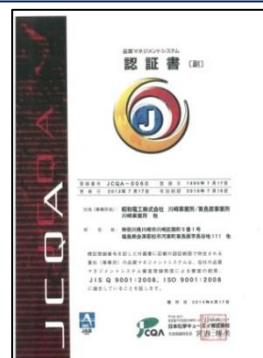
- ・品質に関するお客様の情報を共有し、スピーディーに対応する。
- ・品質目標を定め、品質の維持向上を計画的に展開する。
- ・コミュニケーションを深め、お客様の要求に適合した製品を提供する。
- ・従業員全員で品質マネジメントシステムを維持し、継続的に改善する。

■ 品質マネジメントシステム

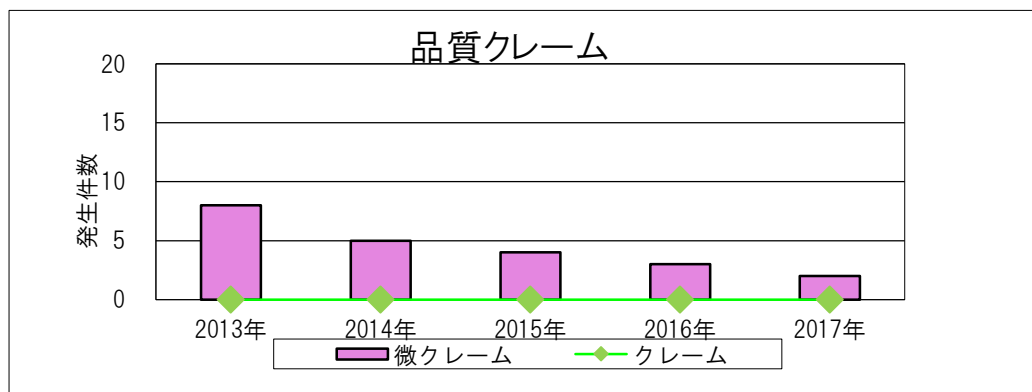
当事業所は1995年7月にISO9001の認証を受けました。お客様に満足していただける製品品質を提供するための仕組みを構築し、継続して改善を行っています。

■ 品質クレーム

様々な品質活動を通じてお客様からのクレームをゼロにするための取り組みを続けています。クレーム(補償金が発生するレベル)についてはゼロを継続し、微クレーム(補償金が発生しないレベル)については是正策を立案し、事業所全体の品質管理のレベルを上げ、クレームの撲滅を目指しています。



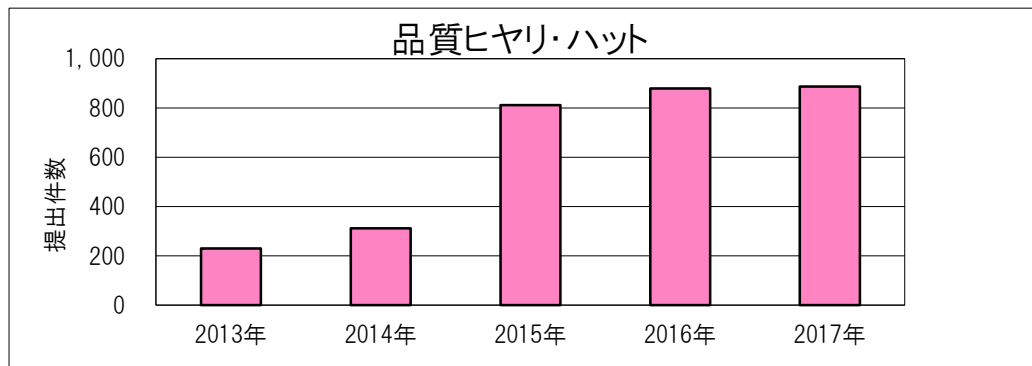
ISO9001認証書



■ 品質ヒヤリハット

■ 最新データ集計期間: 2017年1月～12月

品質活動の一つに品質ヒヤリハット活動があります。従業員全員が参加することにより、品質気づき力を底上げし、品質トラブル撲滅に寄与しています。2011年に活動を開始して以来、品質ヒヤリハットの提出件数は年々増加傾向にあります。



■ 最新データ集計期間: 2017年1月～12月

【用語説明】 ■ヒヤリハット活動:ヒヤリハットは、重大な災害や事故には至らないものの、そのことに直結してもおかしくない一歩手前の事例・体験で、「ヒヤリ」としたり「ハッ」としたりすることが由来。これを事前に抽出し、対策を取ることで事故を未然に防ぐ活動。

湯野上発電所 旭ダム

■ クリーンエネルギー

■ 湯野上発電所・旭ダム概要

発電所取水フロー位置図

建設:1935年
認可出力:7,980kw
最大使用水量:12.5m³/秒
最大落差:69m



■ 発電所・旭ダム見学会

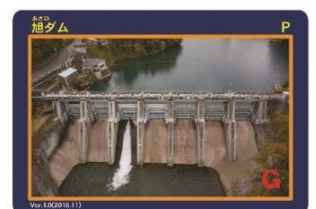
2017年秋の事業所見学会にて、OBを対象とした湯野上発電所・ダム見学会を開催しました。ダム放流の迫力ある様子や、事業所で作成した発電所紹介オリジナルDVDの映像など、大変興味を持ってご覧いただきました。

湯野上発電所では、他にも市町村や地域団体の皆様から要望をいただいて見学会を開催しております。今後も事業活動をご理解いただくため、随時行っていきます。



ダム見学の様子

【ダムカード】



旭ダムについて広く知っていただくためダムカードを作成し、来場いただいた方に管理所でお配りしています。(写真はカード表面)

地域 との関わり

■ 地域との共生を目指して

■ 地域交流

● 納涼祭

事業所内で働く従業員の慰労と地域の皆様との交流を目的に毎年8月の第一金曜日に開催しています。

従業員や協力企業の方々の手作りの屋台では、カレーやフランクフルトなどを振る舞い、毎回大盛況です。

毎年恒例のミニSL等の子供向けアトラクションや、抽選会などの企画もご来場いただいた方から好評を得ています。今回のメインイベントは初の試みとなるプロレス興行でしたが、大盛り上がりでした。



■ 公共的配慮

● クリーンデイ

当事業所では、毎年春と秋の2回、事業所周りの清掃活動を行っています。

地域の皆様のご理解があって事業活動が継続できることへの感謝と、気持ちの良い環境の中で仕事をしたいとの思いから、場内企業と協力企業各社、OBの方々と共同で実施しています。



■ 人材育成

● 出前授業

実験を通じて事業所への理解を深め、また化学に興味をもっていただくことを目的に、2010年より小学校等を対象とした出前授業を行っています。

2017年も、地元河東学園小学校5年生へ「ゲルの生成」と「物質の三態」(写真)をテーマとした実験授業を行いました。



■ 地域文化

● アルミ缶リサイクル活動

当社グループを挙げて取り組んでいるアルミ缶リサイクル活動では、地域の福祉団体や学校からの使用済みアルミ缶の持ち込みも受け付けています。

アルミ缶は1缶1円で買い取り、福祉団体の事業資金としてご活用いただいています。また、従業員等からチャリティーとして集めた収益金で社会福祉団体へ物品の贈呈を行い、地域の福祉に役立ていただいています。今回は社会福祉協議会へ生ごみ処理機等を贈呈しました。

